

Interim Business Report

# 第66期 中間報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで

 **丸文株式会社**

証券コード：7537

## 株主の皆様へ

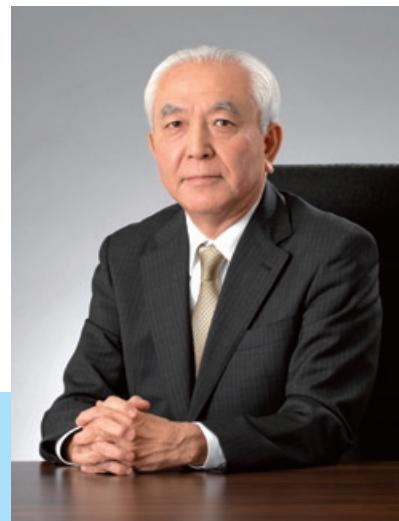
株主の皆様におかれましては、平素から格別のご支援とご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第66期中間期（2012年4月1日から2012年9月30日まで）の報告書をお届けしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

当中間期におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要で緩やかな持ち直しの動きが見られた一方で、円高の長期化に加え、欧州債務危機や中国などの成長鈍化により、先行きが不透明な状況が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレットPCの需要拡大が継続したものの、デジタルカメラが減速し、TVやゲーム機も低迷が続きました。半導体製造装置も設備投資の回復が遅れ、また半導体・電子部品市場では、DRAMや液晶パネルの価格が軟調に推移しました。

こうした状況のもと、当中間期における当社グループの売上高は、前年同期比0.6%減の103,038百万円となりました。営業利益は前年同期比12.8%減の517百万円となりましたが、経常利益は営業外費用



代表取締役社長  
稲村 明彦

における支払利息が減少したことにより、前年同期比8.5%増の377百万円となりました。四半期純利益は、仕入先への和解金283百万円および投資有価証券評価損91百万円を特別損失に計上した結果、106百万円の純損失（前年同期は131百万円の四半期純利益）となりました。

株主の皆様には、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 当期の配当金について

株主の皆様への利益配分につきましては、業績連動型の配当方式を採用し、配当性向を重視して決定しています。配当額は、連結ベースでの配当性向25%以上もしくは単体での配当性向30%以上のいずれか多い方を目安として決定していく方針です。

このような方針のもと、第66期の中間配当金につきましては1株当たり6円とさせていただき、期末配当金につきましては1株当たり9円(年間15円)を予定しています。

## 当期の連結業績予想

当期の売上高は、PCや民生機器向けのメモリーICが減少するため、前期比11.8%減の214,000百万円となる見通しです。利益面では、経費抑制による販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は前期比10.8%増の3,150百万円、経常利益は前期比28.4%増の3,050百万円となる見通しです。また当期純利益は、前期比37.7%増の1,400百万円となる見通しです。

\* 2012年10月に「希望退職者の募集に関するお知らせ」を公表しています。応募者数が未定であり影響額の算定が困難なことから、今回の業績予想には、その影響額は含めていません。詳細が確定した段階でお知らせします。

### 当中間期売上高

103,038百万円  
(前期比 △0.6%)



### 当中間期営業利益

517百万円  
(前期比 △12.8%)



### 当中間期経常利益

377百万円  
(前期比 +8.5%)



### 当中間期純利益

△106百万円  
(前年同期は131百万円の四半期純利益)



## セグメント別事業の概況



### デバイス事業



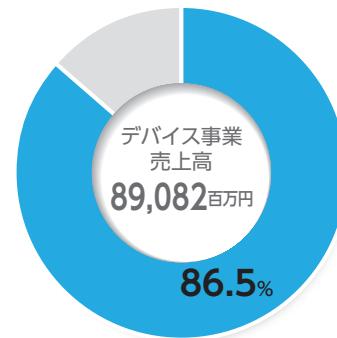
当中間期売上高

**89,082**百万円  
(前年同期比  $\Delta$ 2.3%)



当中間期セグメント利益

**294**百万円  
(前年同期比  $\Delta$ 42.3%)

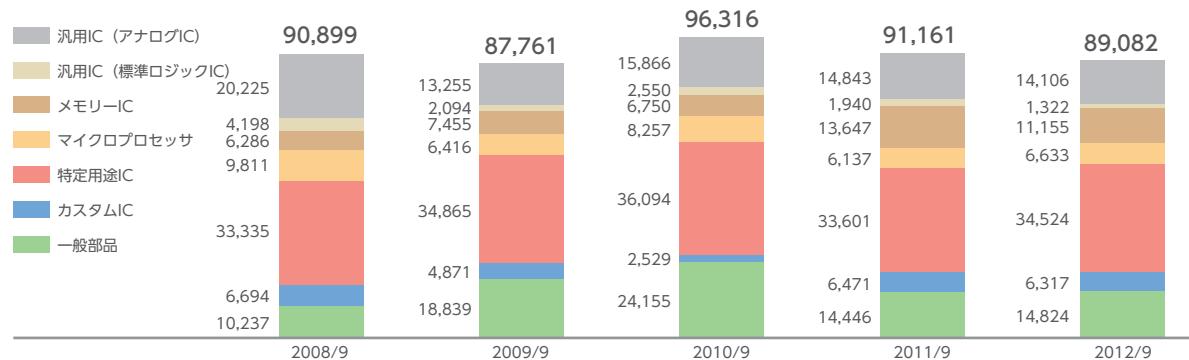


### ■ デバイス事業の動向

デバイス事業は、スマートフォンや携帯電話モジュール向けの半導体・電子部品が好調に推移し、車載向け半導体も売上が増加したものの、PCの需要低迷によりメモリーICが減少しました。その結果、売上高は前年同期比2.3%減の89,082百万円、セグメント利益は前年同期比42.3%減の294百万円となりました。

### ■ デバイス事業 品目別売上高

(単位:百万円)



## TOPICS



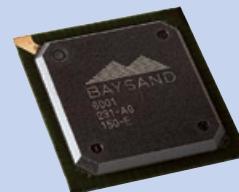
### 米国「BaySand Inc.」社 ASIC の販売開始

当社は、米国「BaySand Inc. (以下、ベイサンド社)」の国内総代理店として、同社のカスタムIC「TeneX」の販売を開始しました。

高性能化が進む電機製品においては、心臓部として活躍するカスタムIC自身の高機能化が必要となっており、開発コストの節減と開発期間の短縮が設計時の課題となっています。

当社が取り扱う「TeneX」は、ASICとFPGAの利点をともに享受できるカスタムICプラットフォームを提供し、高機能化するカスタムICの「開発期間の短縮、開発費の削減、回路設計の高効率化」を同時に実現することが可能です。

当社では、様々な製品のASIC設計やFPGAから量産移行されるお客様に対し、他にはないカスタムICソリューションを提供しています。



BaySand社ストラクチャードASIC製品



### 米国 TriQuint社から Distributor of the Yearを受賞

当社は、TriQuint社 (以下、トライクイント社) より、2011年度の成果を評価され、「Distributor of the Year」を受賞しました。

トライクイント社は、ガリウムヒ素などをベースとする化合物半導体メーカーで、高周波、高出力のパワーアンプを主力とした製品の開発及び製造を行っています。同社の製品はシリコンの半導体に比べ、高効率という優位性を持っており、主要モバイル端末、光通信やネットワークインフラなどに幅広く採用されています。

当社は、2011年11月にトライクイント社と代理店契約を締結し取扱いを開始しました。現在では、代理店売上で世界シェアランキング3位まで売上高を伸ばしています。今後も積極的な販売促進活動を展開し、更なるシェア拡大に取り組んでいきます。



授賞式にて



### アンリツ社パートナーQU提案優秀賞、3年連続受賞

当社はアンリツ株式会社 (以下、アンリツ社) より、同社が導入している「パートナーQU提案優秀賞」を受賞しました。

(QU…Quality Upの略)

アンリツ社のパートナーQU提案制度は、アンリツ社の取引先が同社に対して改善提案し、両社に有益であれば即実行に移すという改善提案制度で、毎年3社が表彰されます。

当社は、コストだけでなく日常業務に対する改善提案など多岐にわたる提案が高く評価され3年連続の受賞となりました。

今後もこのようにお客様のニーズに沿った提案を行うことで、お客様とWin-Winの関係を構築してまいります。



アンリツ社 橋本社長(右)と  
稲村社長

## セグメント別事業の概況

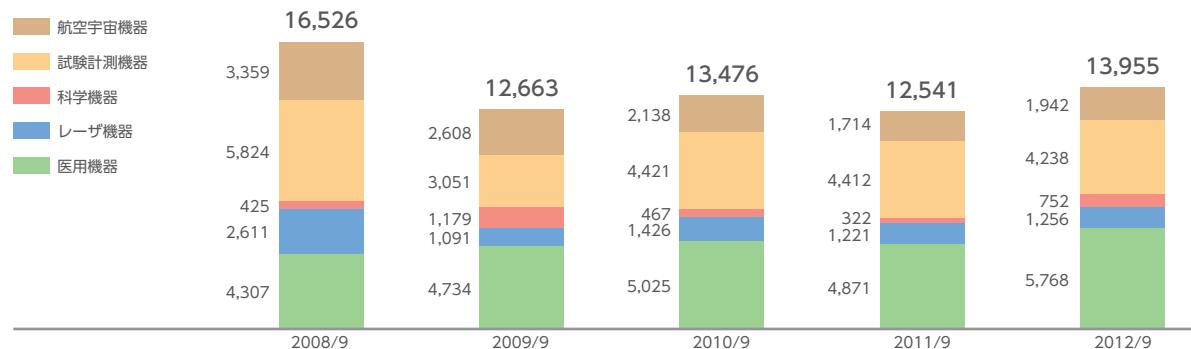


### ■ システム事業の動向

システム事業は、試験計測機器が設備投資回復の遅れにより需要が減少したものの、航空宇宙機器の人工衛星用部品や科学機器の薄膜装置の売上が増加し、医用機器も画像診断装置の需要が増加しました。その結果、売上高は前年同期比11.3%増の13,955百万円、セグメント利益は前年同期比158.8%増の228百万円となりました。

### ■ システム事業 品目別売上高

(単位:百万円)



## TOPICS

### 独国「First Sensor」社と販売代理店 契約締結 ～光電子センサーの販売を開始～

当社は、光センサーメーカーの独国「First Sensor AG（以下ファーストセンサー社）」と販売代理店契約を締結し、カスタムフォトダイオードや放射線検出専用大面積フォトダイオードなど、幅広い光電子センサーを販売し始めました。

ファーストセンサー社は、高精度フォトダイオードなどの各種光センサーの製造販売や精密光センサーによる高精度計測ソリューションを、欧州市場を中心に20年以上にわたって提供してきた光センサーメーカーです。自社工場にてウエハから製造し、お客様の様々な要望に対応したカスタムセンサーも提供しています。

当社では、国内のセキュリティ、セーフティー市場の検知・計測製品向けにTOF\*技術を用いた各種光センサー解析ソリューションを、また環境計測市場向けには放射線検出用センサーなどを提供していきます。



ファーストセンサー社 放射線検出器用大面積フォトダイオード X100-7  
(左:フォトダイオードのみのタイプ 中央・右:高感度シンチレータ付タイプ)

\*TOF (Time Of Flight)

対象に光を当てて、反射した光が戻ってくる時間から距離を測定する計測法。

### 2012年国際航空宇宙展 (Japan International Aerospace Exhibition 2012)へ出展

アジア最大の航空宇宙トレードショーである2012年国際航空宇宙展が、10月に名古屋で開催されました。

この展示会は、国内外の関連企業・団体を一同に集め、トレード・情報交換等の促進を図るとともに、航空宇宙関連産業の振興と同産業に対する国民の理解ならびに国民生活の向上に寄与することを目的としています。

当社は、システム事業が取り扱う無人機等の防衛関連機器、先端計測向け各種センサー、及びデータ収録装置、ネットワーク機器、マイクロ波計測機器、宇宙関連部品、デバイス営業が取り扱うボードPC類など、様々な航空宇宙分野における機器製品の展示やデモンストレーションを実施しました。



展示会への出展の様子

# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期末 2012.9.30	前期末 2012.3.31
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,905	18,123
受取手形及び売掛金	52,763	66,611
商品及び製品	24,022	22,666
仕掛品	118	51
繰延税金資産	1,258	1,198
その他	4,584	1,934
貸倒引当金	△75	△31
<b>流動資産合計</b>	<b>95,577</b>	<b>110,554</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	4,453	4,372
無形固定資産	330	322
投資その他の資産	6,103	5,796
<b>固定資産合計</b>	<b>10,887</b>	<b>10,491</b>
<b>資産合計</b>	<b>106,464</b>	<b>121,045</b>

(単位:百万円)

科目	当中間期末 2012.9.30	前期末 2012.3.31
<b>負債の部</b>		
流動負債	52,021	66,163
固定負債	18,245	18,586
<b>負債合計</b>	<b>70,267</b>	<b>84,750</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	34,227	34,517
その他の包括利益累計額	△1,220	△1,269
少数株主持分	3,189	3,047
<b>純資産合計</b>	<b>36,196</b>	<b>36,295</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>106,464</b>	<b>121,045</b>

### ■ 連結貸借対照表のポイント ■

流動資産は有価証券が3,000百万円増加した一方で、受取手形および売掛金が13,848百万円、現金及び預金が5,217百万円それぞれ減少したことなどにより、前期末に比べて14,977百万円減少しました。固定負債は役員退職慰勞引当金が261百万円、退職給付引当金が75百万円それぞれ減少したことにより、前期末に比べて341百万円減少しました。

## ■ 連結財務ハイライト

### ■ 売上高



### ■ 営業利益



### ■ 経常利益(△損失)



## ■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 2012.4.1～ 2012.9.30	前中間期 2011.4.1～ 2011.9.30
売上高	103,038	103,703
売上原価	95,033	95,620
売上総利益	8,005	8,082
販売費及び一般管理費	7,487	7,488
営業利益	517	593
営業外収益	284	245
営業外費用	424	491
経常利益	377	347
特別利益	2	79
特別損失	386	36
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△6	390
法人税等	△66	128
少数株主損益調整前四半期純利益	60	262
少数株主利益	167	130
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106	131

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 2012.4.1～ 2012.9.30	前中間期 2011.4.1～ 2011.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,378	△3,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92	△6,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,228	2,739
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	△186
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△2,017	△6,634
現金及び現金同等物の期首残高	17,923	16,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,905	9,443

### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

・投資活動によるキャッシュ・フロー

主に定期預金の払戻による収入が200百万円あった一方で、投資有価証券の取得による支出が152百万円、有形固定資産の取得による支出が100百万円あったことにより、92百万円減少しました。

### ■ 中間(当期)純利益(△損失)



### ■ 1株当たり中間(当期)純利益(△損失)



### ■ 純資産/総資産



# 会社の概要 (2012年9月30日現在)

## 株式の状況

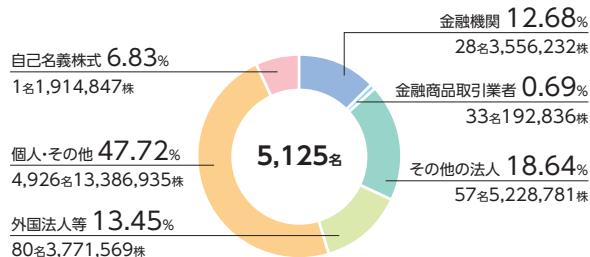
### ●株式・株主の総数

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	28,051,200株
1単元の株式数	100株
株主数	5,125名

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
堀越 毅一	2,469	8.80
アローエレクトロニクスインク	2,350	8.37
一般財団法人 丸文財団	2,304	8.21
丸文株式会社 (自己株式)	1,914	6.82
堀越 裕史	1,566	5.58
株式会社 千葉パブリックゴルフコース	1,399	4.98
丸文社員持株会	715	2.55
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	622	2.21
堀越 浩司	614	2.19
堀越 百子	602	2.14

### ●所有者別の分布状況



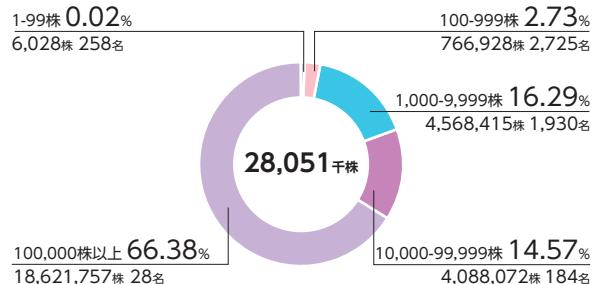
## 会社概要

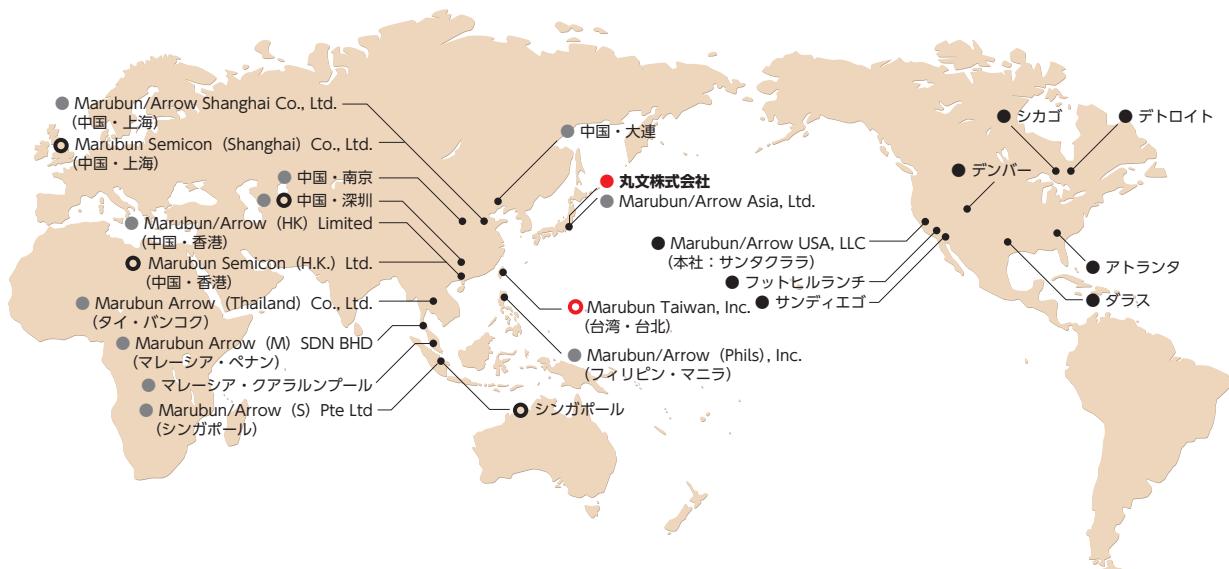
会社名	丸文株式会社 (英文名称 MARUBUN CORPORATION)
所在地	〒103-8577 東京都中央区日本橋大伝馬町8-1
代表者	代表取締役社長 稲村 明彦
設立	1947年 (昭和22年) 7月1日
創業	1844年 (弘化元年)
資本金	6,214,500,000円
従業員 (単体)	814名 (2012年4月1日現在)

## 役員

名誉会長	堀越 毅一	常勤監査役	丸川 章
代表取締役社長	稲村 明彦	社外監査役	島津 久友
代表取締役副社長	水野 象司	社外監査役	濱口 道雄
代表取締役専務	岩元 一明	社外監査役	渡邊 泰彦
取締役専務	藤野 聡		
取締役	相原 修二		

### ●所有株数別の分布状況





● 丸文株式会社 ● Marubun Taiwan, Inc. ● Marubun/Arrow Asia, Ltd. ● Marubun/Arrow USA, LLC ● Marubun Semicon

### 国内拠点



● 本社

- 本社
- 中部支社
- 関西支社
- 大宮支店
- 立川支店
- 北陸営業所
- 三島サテライトオフィス
- 松本サテライトオフィス
- 浜松サテライトオフィス
- 広島サテライトオフィス
- 九州サテライトオフィス
- 南九州サテライトオフィス
- 宇都宮カーエレクトロニクスオフィス
- 姫路カーエレクトロニクスオフィス
- 南砂テクニカルセンター
- 東日本物流センター
- 南砂物流センター

### 主なグループ会社

#### 〈国内〉

- 丸文通商株式会社
- 丸文セミコン株式会社
- 丸文ウエスト株式会社
- 株式会社フォーサイトテクノ

#### 〈海外〉

- Marubun USA Corporation
- Marubun Taiwan, Inc.
- Marubun Semicon (Shanghai) Co., Ltd.
- Marubun Semicon (H.K.) Ltd.
- Marubun/Arrow Asia, Ltd.
- Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.
- Marubun/Arrow (HK) Ltd.
- Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.
- Marubun/Arrow (Phils) Inc.
- Marubun/Arrow (Shanghai) Co., Ltd.
- Marubun Arrow (M) SDN BHD.
- Marubun/Arrow USA, LLC

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会、期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.marubun.co.jp/">http://www.marubun.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

### 【お知らせ】

#### 1. ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### 2. 配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

### ●IR情報メール配信登録のご案内

投資家の皆様に当社の情報を迅速にお届けするため、IRに関するプレスリリースやコンテンツの更新を行った際に電子メールにてお知らせいたします。

ご登録は、当社ホームページにて承っております。

<http://www.marubun.co.jp/ir/irreg1.html>

### ●単元未満株式保有の株主様へ

株券の電子化に合わせて、単元未満株式（100株未満の株式）の買取りにかかる手数料を無料としています。是非ご利用ください。

お問合せ先	口座を開設されている証券会社等 ※特別口座の場合は、三菱UFJ信託銀行
単元未満株式の 買取制度	市場で売却できない単元未満の株式を当社が市場価格で買取りする制度です。

### ●証券会社にお預けではない株式について

ご所有株式は、「特別口座」で管理されています。特別口座では株式を市場で売買できないなどの制約がありますので、証券会社の口座へ移されることをお奨めいたします。

#### 「特別口座」から証券会社の口座への振替方法

につきましては、以下の手順にて、振替が可能です。

- 証券会社に株主様ご名義の口座を開設
- 三菱UFJ信託銀行に振替申請  
(電話 0120-232-711 (通話料無料))
- 三菱UFJ信託銀行が振替処理



なお、詳しいお手続き等は、左記の特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。